「キャリア・パスポート」を活用した授業例①

1. 高等学校　特別活動
2. １学年　ホームルーム活動（３）「一人一人のキャリア形成と自己実現」

ア 学校生活と社会的・職業的自立の意義の理解

1. 題材「これまでの「キャリア・パスポート」を他者に紹介し、自分自身の成長を再認識する」

▶取り組みを通して、これまでを振り返ながら自己を見つめ、将来に関する考えを深めることの大切さを理解する。振り返りで気づいたことをもとに、新たな学習や活動に主体的に取り組むことができるようにする。

1. 事前の指導（活動）

▶クラス内の人間関係づくりを行っておく。（他者を考えや意見を受け入れる雰囲気づくり）

▶小・中学校時に作成した「キャリア・パスポート」を見返し、クラス内で紹介する内容等の準備をさせる。

1. 本時の学習過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 児童生徒の活動 | 指導の留意事項 |
| 導入 | ▶ねらい「これまでの「キャリア・パスポート」を他者に紹介し、自分自身の成長を再認識する」について確認  ▶これから行う活動の流れについて確認 | ▶多様な考えや意見を受け入れ、尊重し合う雰囲気をつくるため、相手の意見を否定しないといった「グランドルール」を確認する。 |
| 展開 | ▶小・中学校時に作成した「キャリア・パスポート」をもとに、グループ内で、「これまでに自分なりに努力してきたこと」など、各自の成長や変容を発表し合う。  ▶クラスメイトのコメントや、クラスメイトの発表で感じたことや考えたことをワークシートにまとめる。 | ▶時間内でグループを組み直すなど、できるだけ多くの生徒の発表を聞くことができるよう工夫する。  ▶振り返りを通して、自己理解や他者理解、新たな人間関係の構築につなげる。 |
| 終末 | ▶「高校生のみなさんへ」や「○○高等学校のみなさんへ」を読み、高等学校においてさらに伸ばしたい力を意思決定すると共に、高等学校で「キャリア・パスポート」を作成することの意義を再確認する。 | ▶高等学校において、授業やさまざまな行事等を通してどのような力を伸ばしたいかを意思決定させる。 |

1. 事後の指導（活動）

▶「一年を見通し、振り返る」様式の【見通し】や、「学期を見通し、振り返る」様式の【見通し】についてまとめる。

1. 実施時期について

▶入学後、クラス内の人間関係が一定できた４月中旬以降を想定しているが、４月に「仲間作り合宿」などの取組がある学校については、合宿中のプログラムの１つとして行うことも考えられる。